



2013年9月1日(日) 9:30-17:00

# 日本質的心理学会 第10回大会

大会テーマ「温故知新—きっと新しい径路が見える」

会場◎立命館大学 衣笠キャンパス 創思館

大会委員長◎サトウ タツヤ(立命館大学・教授)

## 一般公開シンポジウム★祭り

### 「Globalization & Diversion Eraにおける多様な人間理解にむけて」

共催:立命館大学人間科学研究所(「応用社会心理学の様々なかたち」プロジェクト)/立命館大学グローバル・イノベーション研究機構(R-GIRO)研究プログラム「法心理・司法臨床センター」/立命館大学生存学研究センター/科学研究費・新学術領域研究「法と人間科学」公募研究「DV被害母子支援の地域連携—福祉・心理と司法の融合に向けたアクションリサーチ」

\*本企画は、文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「インクルーシブ社会に向けた支援の<学=実>連携型研究」プロジェクトの研究成果として広く社会に発信するものです。

シンポジウム

1

9:30-11:30

「日中韓の人間性を考える  
キーワードを語り合う」

企画 田垣正晋(大阪府立大学)・森岡正芳(神戸大学)

担当 立命館大学グローバル・イノベーション研究機構(R-GIRO)研究プログラム「法心理・司法臨床センター」

お問い合わせ先:

tgkmskn@yahoo.co.jp

シンポジウム

2

12:30-14:30

「『当事者』だからこそ語れること、  
語れないこと—『当事者』という  
概念の再考に向けて」

企画 日高友郎(福島県立医科大学)・水月昭道(筑紫女学園)・やまだようこ(立命館大学)

担当 立命館大学生存学研究センター  
お問い合わせ先:

jaqp2013\_toujisha@outlook.com

シンポジウム

3

15:00-17:00

「DV被害者への支援に  
おける協働と連携」

企画 安田裕子(立命館大学)

担当 科学研究費・新学術領域研究「法と人間科学」公募研究「DV被害母子支援の地域連携—福祉・心理と司法の融合に向けたアクションリサーチ」

お問い合わせ先:

yukoya8010@gmail.com

◎聴講無料 事前申込不要